

東京都台東区立ことぶきこども園及び東京都台東区立寿子ども家庭支援センターの 指定管理者候補者の選定結果について

1 対象施設

名称 : (1) 東京都台東区立ことぶきこども園
(2) 東京都台東区立寿子ども家庭支援センター

所在地 : (1) 台東区寿一丁目10番9号
(2) 台東区寿一丁目10番10号

施設内容 : 施設概要

敷地面積 3,220.62m² 鉄筋コンクリート造 4階建

1、2階 ことぶきこども園(定員213名(0~5歳))

3階 寿子ども家庭支援センター

他、体育館、園庭等

事業内容

ことぶきこども園

就学前の子供に一貫した教育・保育を受ける機会を提供するとともに、地域における子育て支援を充実する。

寿子ども家庭支援センター

子育ての相談や事業を通じ、子供と家庭を支援し、区民が安心して子供を産み育てることができる地域環境の形成を図る。

2 指定管理者候補者

名称 : 特定非営利活動法人 子育て台東

所在地 : 東京都台東区谷中五丁目2番4号

代表者 : 理事長 藤原 芳子

主な業務内容 : 子育て支援事業、保育事業の実施

3 指定期間

平成31年4月1日から平成36年3月31日までの5年間

4 選定の経過の概要

(1) 選定経過

6月12日 子育て支援特別委員会(指定管理者の選定方法の報告)

7月9日 募集要項等の公表

8月31日 応募締切

9月5日 第1回選定委員会(対象施設の視察及び選考基準の決定)

9月28日 第2回選定委員会(書類審査)

10月26日 第3回選定委員会(面接審査及び選定)

(2) 応募状況

応募件数 : 1団体

5 選定手続き

(1) 選定方法

台東区指定管理者制度運用指針3(1)に基づき、指定管理者を公募により選定する。

また、併設されている寿子ども家庭支援センターについては、同指針3(4)に規定する複合施設等の一括指定を適用する。

(2) 審査手順

外部有識者と区職員による指定管理者選定委員会を開催し、応募者から提出された事業計画書等について審査をした。区は、選定委員会の審査結果を踏まえ、指定管理者候補者を決定した。

6 選定委員会構成員

	氏名	役職等
委員長	有村 久春	東京聖栄大学教授
委員	山下 文一	松蔭大学教授
委員	仲村 健太	東京都中小企業診断士協会城北支部 中小企業診断士
委員	宇津木 和子	台東区民生委員・児童委員協議会 主任児童委員部会部会長
委員	福田 健一	企画財政部経営改革担当課長

7 選考基準

基本項目	細目(審査内容)	審査の視点
団体の実績・安定性	団体の理念、経営方針等	応募団体が、区の当該分野における基本的な政策や計画、あるいは施設の設置目的や性格等を十分に理解した上で、それらに適合した管理運営に対する理念や基本方針を持っているか。
	類似施設の管理運営実績	類似施設の管理運営の実績を有しており、成果を上げているか。
	人的・物的能力	事業計画書に記載された業務を遂行するために必要な人的・物的基盤を有しており、または確保できる見込みがあるか。
		施設の管理運営に関する専門的知識や資格、経験を十分に有し、かつ、熱意や意欲を持っているか。
	団体の財務状況	安定的な運営が可能な財政基盤があるか。
区の求める管理水準の確保	施設の設置目的に合致した管理運営	施設の管理運営に係る事業計画の内容が、施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか。
		地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業展開が図られるものであるか。
	施設の維持管理計画	具体的な維持管理計画となっているか。安全、快適等が念頭に置かれているか。

基本項目	細目（審査内容）	審査の視点
	区民の平等利用の確保	公の施設としての役割を踏まえ、区民の平等利用に留意されているか。
	人員の配置計画	施設の管理責任者、管理体制が明確に示されているか。
		施設の管理運営にあたる人員が合理的に配置されているか。
		有資格者などの配置は適切か。
		労働法令の遵守や、雇用・労働条件への適切な配慮がなされているか。
サービス向上への取組み	利用者に対するサービスの向上	利用者の要望・意見・苦情等を把握し、改善に結びつける方策がとられているか。
		利用者のために有益な情報提供を適時かつ十分に行えるよう考えられているか。
		定期的に評価し、改善に結びつける方策がとられているか。
	自主事業	自主事業の内容が、施設の設置目的に合致しており、かつ利用者にとって魅力的なものとなっているか。
		現実的な収入見込みであるか。
		支出の抑制が図られているか。
	管理・運営についての提案	施設の現状を正しく認識し、今後の施設のあり方について具体的かつ適切な提案があるか。
		施設の利用者の増加や利便性を高めるための実施可能な提案があるか。
		複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られる提案があるか。
		施設の設置目的に応じた営業・広報活動に関する効果的な提案があるか。
運営効率化への取組み	管理経費の効率化	効率的な運営を行うための実施可能な提案があるか。
		管理運営に支障が生じない、現実的な経費見積もりがなされているか。
		清掃、警備、設備の保守点検などの業務を再委託する場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫されているか。
		効率的な管理運営のための創意工夫が見られるか。
	収入の確保	利用料金制を導入する施設については、利用料金の設定が適切であるか。
収入を増加するための実施可能な提案があるか。		

基本項目	細目（審査内容）	審査の視点
危機管理・安全確保の取組み	緊急時対策・防災対策	緊急時の対応を適切に行うための対策が講じられているか。
	個人情報の管理	個人情報の管理体制は適切か。
職員育成の取組み	職員の研修計画	職員の専門的知識・技能を向上させる職員研修計画となっているか。
その他施設固有の性質等による項目	こども園の教育・保育内容	台東区の認定こども園の理念・目標を踏まえた教育・保育内容となっているか。
	子育て支援事業の実施内容	子育て支援の事業内容が、地域の子育て支援環境の向上につながるものとなっているか。
	台東区の幼児教育・保育・子育て支援の発展への寄与	台東区の幼児教育・保育・子育て支援の発展に寄与していくための具体的な提案があるか。

8 審査結果

(1) 得点

審査項目		配点	指定管理者候補者
書類審査	団体の実績・安定性	100点	82点
	区の求める管理水準の確保	100点	84点
	サービス向上への取組み	125点	82点
	運営効率化への取組み	50点	34点
	危機管理・安全確保の取組み	50点	34点
	職員育成の取組み	25点	18点
	その他施設固有の性質等による項目	150点	100点
	書類審査 合計	600点	434点
面接審査	団体の実績・安定性	25点	22点
	区の求める管理水準の確保	25点	21点
	サービス向上への取組み	50点	46点
	運営効率化への取組み	25点	20点
	危機管理・安全確保の取組み	25点	19点
	職員育成の取組み	25点	23点
	その他施設固有の性質等による項目	50点	40点
	面接審査 合計	225点	191点
総 合 計		825点	625点
得点率%【合格基準70%以上】			75.8%

(2) 指定管理者候補者の主な提案内容

- ・ 経験や職層に応じた多様な研修を取り入れ、職員一人ひとりの資質及び能力の向上を図りながら、質の高い教育・保育の提供とその充実に取り組んでいく。
- ・ 地域の子育て家庭の拠点として、寿子ども家庭支援センター及びことぶきこども園のそれぞれの特徴や専門性を生かし、連携を図りながら、地域の子育て支援事業の充実を図っていく。
- ・ 園内での事故防止及び災害等の発生に備え、各種対応マニュアルを整備し、また、こども園及び子ども家庭支援センター合同の避難訓練を実施するなど、施設一体としての安全管理及び体制の強化に努める。

(3) 選定委員会における主な意見

- ・ 法人のプレゼンテーションの内容から、一人ひとりの子供を愛することを大切にしている保育の姿勢がみられる。また、家庭及び地域と連携し、子供たちの健やかな成長を育んでいこうとする園の基本方針が見て取れ、台東区の幼児教育・保育、子育て支援の発展に対する熱意と意欲が感じられる。
- ・ 事務の効率化という点においては、一部改善の余地が見受けられるところである。例えば、ICT機器の活用を促進し、効率化を図る取組みを期待する。
- ・ あらゆる場面を想定した避難訓練と危機管理マニュアルを整備し、園児及び利用者への安全対策が図られている点は評価できる。加えて、災害の発生状況等の視点を変えた訓練を実施し、施設の安全強化などに努めてほしい。
- ・ 寿子ども家庭支援センターでの子育て支援事業について、父親参加型のイベントの充実や手話を取り入れた交流事業の実施など、地域における子育て仲間の広がりや関係づくりのための様々な、魅力あるプログラムとなっている。

9 今後のスケジュール

平成31年	4月	指定管理者との協定締結
		指定管理業務開始